



RS05 型 スプレーガン 取扱説明書 IV-D

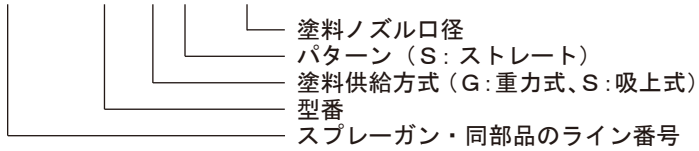
(ストレートパターン専用)

はじめに

- ・この取扱説明書はスプレーガンを安全にご使用いただくための注意事項を記載しています。ご使用になれる前には本書をよくお読みになり、十分に理解してからご使用ください。
- ・取扱説明書はすぐに確認できる場所に大切に保管してください。
- ・ストレートパターンのスプレーガン専用の取扱説明書です。

型式

907-05GS-XX



仕様

型式		塗料ノズル口径 (mm)	エアキャップ (レッド)	塗料噴出量 (ml/分)	パターン開き (mm)	重量 (g)	
重力式	907-05GS-13	1.3	S2	170	240	304	
	907-05GS-15	1.5		190	260		
吸上式	907-05SS-13	1.3		S2	145		230
	907-05SS-15	1.5			155		250
	907-05SS-18	1.8	S3	220	275		

※塗料噴出の条件は、塗料粘度：10秒/FC#4、吹付距離：200mmです。

安全に関する注意事項

火災と爆発

1. 塗料は引火性があり火災の危険性があります。換気の良い場所で作業してください。
2. タバコ・電気機器など、引火の恐れがあるものの近くでは使用しないでください。また、静電気の発生にも十分注意してください。

人体保護

1. 吹付作業は塗装ブースを使用するなど、換気の良い場所で作業してください。有機溶剤中毒の危険性があります。
2. 塗装や機器の洗浄時には適切な保護具（眼鏡・マスク・手袋など）を着用してください。目や皮膚に炎症を起こす危険性があります。

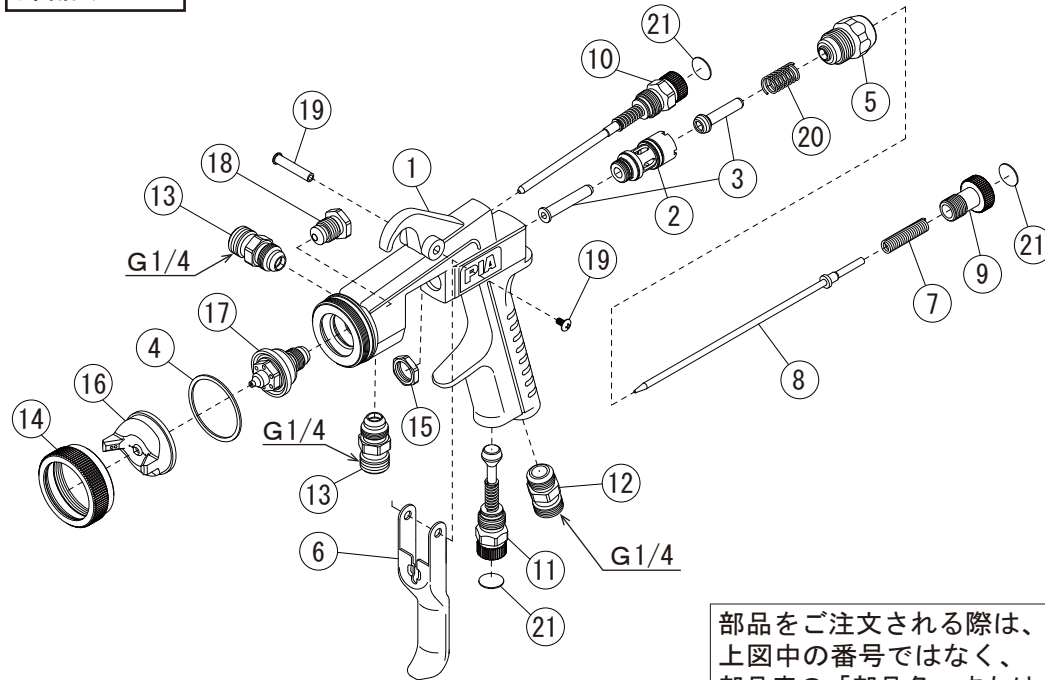
機器誤用

1. 絶対に人体に向けてスプレーしないでください。目や皮膚に炎症を起こす危険性があります。
2. 分解などの保守作業をする場合は、塗料を抜き必ず圧縮エアを遮断し、トリガーを引きガン内部のエア圧力を抜いてから行ってください。重大な人身事故の原因になります。
3. 絶対に最高使用圧力（0.69MPa）以上で使用しないでください。機器の破損とともに、重大な人身事故の原因になります。

その他

1. 絶対に製品の改造はしないでください。機器の破損とともに、重大な人身事故の原因になります。

部品リスト



部品をご注文される際は、上図中の番号ではなく、部品表の「部品名」または「部品コード」を連絡ください。

NO.	部品名	部品コード
1	本体 RS05GT3	06
	本体 RS05ST3	07
2	バルブブッシュセット3	44
3	エアバルブセット4	46
4	キャップガasket	79
5	バルブエンドセット2	55
6	トリガー2	73
7	ニードルスプリング2	77
8	ニードル 1.3/1.5-2	52
	ニードル 1.8-2	53
9	ニードルツマミ2	57
10	パターンセット2	63
11	チータセット2	65
12	エアニップル2	67
13	ペイントニップル2	69

NO.	部品名	部品コード
14	キャップナットセット2	42
15	ロックナット	49
16	エアキャップ S2	34
	エアキャップ S3	35
17	ノズルチップ 1.3	13
	ノズルチップ 1.5	15
	ノズルチップ 1.8	18
18	ニードルパッキンセット	47
19	トリガーピンセット	71
20	バルブスプリング	75
21	マークプレート	93

操作方法

1. スプレーガンに供給するエアは、エアフィルター・エアドライヤーを通した清浄なエアを使用してください。汚れたエアは塗装不良の原因になります。
2. 塗料カップおよびエアホースは、スパナなどを使用して確実にスプレーガンに取付けてください。
3. 初めてご使用される際は、ニードルパッキンを少しづつ締め込み、ニードルの戻りが悪くなったところから少しだけ緩める程度に調整してください。
4. 初めてご使用される際は、カップにシンナーのみ入れて吹出しを行い、塗料通路内部の油分を除去してください。
5. 塗料カップに塗料を入れスプレーガンの試し吹きを行い、空気量・塗料噴出量・パターン幅などを調整してください。
6. 供給エア圧力は、0.2～0.3MPaの範囲で調整してください。
*供給エアの取出し口圧力が0.3MPaの場合、内径8mmのホース長さが10mで、スプレーガンの手元圧力は0.2MPa程度に減圧します。
7. 通常エア量調整ネジ(⑩チータバルブ)を全閉より1回転以上、塗料噴出量調整ネジ(⑨ニードルツマミ)は全閉より2.5～3.0回転で調整してください。
8. パターン幅をパターン調整ネジ(⑩パターンツマミ)で調整してください。
9. 吹付距離は通常150～200mm、ムラ取り時には200～250mmの範囲にして、塗装面に垂直に向け、一定速度のストロークで塗装してください。
10. スプレーパターンの重ね幅は、通常3/4程度にするのが最適です。

保守・点検

1. スプレーガンを良好な状態で使用できるように、毎日清掃と潤滑を行ってください。
2. スプレーガンの洗浄はきれいな溶剤を浸したブラシやウエスなどで行ってください。



注意

スプレーガン全体を溶剤中に浸さないでください。動作不良や機器破損の原因になります。

3. 塗料通路の洗浄は塗料カップに少量の溶剤を入れて吹出してください。
4. ⑪ノズルチップと⑫エアキャップは分解し、溶剤に浸した後に洗浄してください。



注意

ノズルチップの中心穴とエアキャップ角部の穴は絶対にキズを付けないようにしてください。



注意

ノズルチップの分解はニードルツマミを取外し、ニードルを引いてから行ってください。

5. ⑬ニードルパッキンセットの調整は、トリガーを引きながら行ってください。締めすぎるとニードルの動作不良の原因になります。
6. スプレーガンの良好な動作を維持するために、下記の部品には注油が必要です。植物性で塗料をはじかない油を注油してください。
●⑬ニードルパッキンセットと⑧ニードル間の摺動部
●⑩パターンセットと⑪チータセットの可動ネジ部
7. ⑨ニードルツマミのネジ部には焼付け防止のため、非シリコン系のグリスを少量塗布してください。
8. ⑩パターンセットおよび⑪チータセットの分解・組立ては、先端保護のためツマミを全開状態にしてから作業してください。



注意





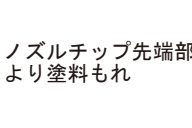
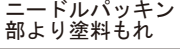
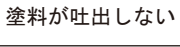
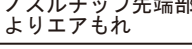
スプレーガンを分解し再度組立てる場合には、部品にゴミが付着しないように気を付けてください。



注意

スプレーガンを分解する際には、各部品の寸法にあった工具(スパナ、レンチ)を使用してください。

故障の原因と対策

現象	原因	対策
息つき 	1. ノズルチップの緩み、キズ、ゴミかみ 2. ノズルチップと本体のシート部のキズ 3. ニードルパッキンの摩耗 4. 塗料不足、塗料カップ継手の緩み	1. ノズルチップを分解清掃して再度締付ける 2. ノズルチップの交換(本体は交換不可) 3. ニードルパッキンセットを交換 4. 塗料補充、継手増し締め
片寄り 	1. エアキャップの角穴の一部に異物が詰まっている 2. ノズルチップ先端穴に異物が付着している 3. ノズルチップ先端穴の変形、キズ	1. エアキャップを清掃し異物を除去する(針や針金など硬いものは使用しない) 2. ノズルチップを清掃し付着物を除去する 3. ノズルチップの交換
三日月 	エアキャップの角穴の一部に異物が詰まっている	エアキャップを清掃し異物を除去する(針や針金など硬いものは使用しない)
中くびれ 中太り 	1. 塗料粘度が不適合 2. 塗料吐出量が不適合 3. 供給エア圧力が不適合	1. 塗料粘度を調整する 2. ニードルツマミを回し吐出量を調整する 3. 供給エア圧力を調整する
ノズルチップ先端部より塗料もれ 	1. ノズルチップとニードルのシート部に異物が付着している 2. ノズルチップ、ニードルの摩耗、キズ 3. ニードルパッキンの締めすぎ 4. ニードルツマミの開きすぎ	1. 清掃し付着物を除去する 2. ノズルチップを交換 3. ニードルパッキンを調整する 4. ニードルツマミを調整する
ニードルパッキン部より塗料もれ 	1. ニードルパッキンの摩耗 2. ニードルパッキンの緩み	1. ニードルパッキンセットを交換 2. ニードルパッキンを調整する
塗料が吐出ししない 	1. ニードルが固着している 2. ニードルツマミの閉めすぎ	1. ノズルチップ、ニードルを分解清掃する 2. ニードルツマミを調整する
ノズルチップ先端部よりエアもれ 	1. エアバルブに異物が詰まっている 2. エアバルブの戻りが悪い	1. 清掃し付着物を除去する 2. エアバルブ摺動部に注油する

PIA ピー・アイ・エー 株式会社 Paint Instrument & Accessories

大阪営業所 〒555-0034 大阪市西淀川区福町1丁目1番16号
TEL.(06)6473-1571 FAX.(06)6478-3170
東京営業所 〒136-0076 東京都江東区南砂2丁目37番2号
TEL.(03)3699-0811 FAX.(03)3640-9000
ホームページアドレス <http://www.piakk.co.jp>